

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック応用理論	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義	
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須	
授業概要 ・ 授業内容	<p>・テキスト新エステティック学理論編を用いてエステティックカウンセリングの必要性、流れ、手順を学ぶ。栄養学や運動生理学を復習し、記入の方法を学ぶ。</p> <p>・相モデルでカウンセリングを行い、理解を深める。</p> <p>・救急救命士に救急法を実技も踏まえて学び、理解を深める。</p> <p>・サロン経営では、業務委託で事業を始めた卒業生の講話で、将来の選択肢を広める。</p> <p>・教科ごとに小テストを行い、理解力を確認する。</p>							
到達目標	<p>①カウンセリングとコンサルティングの違いを理解したうえで、カウンセリングシートを記入できるようにする。</p> <p>②様々なパターンのトラブルに対してアドバイスが出来る。</p> <p>③技術力確認試験に向けて時間内に記入が出来る。</p> <p>④教科ごとに確認試験を行い、理解力を高め、センター試験に備える。</p>							
授業計画・内容								
第1週	接客マナー							
第2週	エステティックカウンセリング							
第3週	フェイシャルカウンセリング(相モデル)							
第4週	ボディカウンセリング(相モデル)							
第5週	エステティック機器学							
第6週	エステティック機器学							
第7週	皮膚科学							
第8週	皮膚科学							
第9週	皮膚科学							
第10週	エステティック概論							
第11週	エステティック関連法規							
第12週	救急法(外部授業：岡山市消防局)							
第13週	救急法(エステティシャンが行う救急法)							
第14週	サロン経営学(サロン経営卒業生講話)							
第15週	サロン経営学							
評価方法	出席率授業態度(40%)、前期試験(40%)、小テスト・提出物(20%)							
教科書 教材など	新エステティック学 理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ							
実務経験	株式会社AILEでエステティシャンとして10年勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	杉山菜月	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要・授業内容	・エステ機器の使用方法の習得。・肌質・ブランドによる化粧品の違いを理解する。・相モデルで行うことでおもてなしの心を身に着ける						
到達目標	・カウンセリングシートの記入をできるようにする。・様々なパターンのトラブルに対してアドバイスできるようにする						
授業計画・内容							
第1週	フェイシャルトリートメント						
第2週	ボディトリートメント						
第3週	フェイシャルトリートメント						
第4週	ボディトリートメント						
第5週	フェイシャル機器(吸引)						
第6週	ボディトリートメント						
第7週	フェイシャル機器(エレクトロクレンジング)						
第8週	背中ケア						
第9週	フェイシャルトリートメント(肌診断)						
第10週	フットケア						
第11週	フェイシャルトリートメント(肌診断)						
第12週	フットケア						
第13週	フェイシャルトリートメント(肌診断、選択化粧品)						
第14週	背中ケア						
第15週	前期試験						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%) 授業態度や出席(20%)						
教科書教材など	認定フェイシャル・ボディエステティシャン理論と実技						
実務経験	たかの友梨ビューティクリニックにて3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	杉山菜月	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・授業内容	授業は実技演習形式で行う。・様々なパターンのメイクアップを行うことでメイクの多様性・奥深さを体感する。						
到達目標	各メイクアップパターンの特徴を理解する。フルメイクの技術向上。						
授業計画・内容							
第1週	キュートメイク						
第2週	エレガントメイク						
第3週	フレッシュメイク						
第4週	クールメイク						
第5週	地雷メイク						
第6週	韓国アイドルメイク						
第7週	ブライダルメイク						
第8週	年代別メイク						
第9週	平成ギャルメイク						
第10週	マルジェラメイク						
第11週	アニマルメイク						
第12週	骸骨メイク						
第13週	男装メイク						
第14週	グループ制作、作品まとめ						
第15週	同上						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して感績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書教材など	日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト						
実務経験	たかの友梨ビューティクリニックにて3年勤務				実務経験のある教員による授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	吉田 ほのか	学年・学期	2年・前期	時間数	45時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は実技演習形式で行う。 ・様々なパターンのジェルアート、アクリルの基礎を習得する。 						
到達目標	様々な種類のネイルアートを学び、個人でネイルチップを制作する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの楽しさと難しさを実感する。 						
授業計画・内容							
第1週	ジェルアート（モロッコネイル）						
第2週	ジェルアート（ミラー、バカラ）						
第3週	ジェルアート（ぷっくりフラワー、フルーツ）						
第4週	ジェルアート（キャラクター）						
第5週	ジェルネイル（チップ長さ出し）						
第6週	たらしこみネイル(紫陽花)						
第7週	アクリル（基礎）						
第8週	アクリル(基礎)						
第9週	アクリル（3Dアート）						
第10週	アクリル(エンボスアート)						
第11週	アクリル（デザイン決め）						
第12週	チップ制作						
第13週	チップ制作						
第14週	チップ制作						
第15週	チップ制作						
評価方法	定期試験は実施せずに、出席状況、授業態度、個人でテーマを決め制作したチップで成績を評価する。 ※評価目安：出席状況（60％）・授業態度（20％）・チップ制作（20％）						
教科書 教材など	オリジナルプリント						
実務経験	株式会社ソシエ・ワールド銀座店・オム池袋店1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	作品制作	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中・青木	学年・学期	2年・通年	時間数	75時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ショーに向けて表現する技術を学び、「伝える」ための作品を制作する。グループで1つの作品を制作することで協調性を養う。						
到達目標	メイク、エステ、ネイルなどの今まで培ってきた知識や技術を総動員させ、作品を仕上げ、ステージで披露する。それぞれのチームが設定した目標達成に向け、一人のモデルと長期間向き合い、その美しく変化した成果をプレゼンテーションで披露し、その内容で競い合う。						
授業計画・内容							
第1週	概要・チーム編成・役割分担	第16週	進行台本完成				
第2週	イメージ製作	第17週	会場下見・打合せ				
第3週	イメージ製作	第18週	音響提出				
第4週	イメージ製作	第19週	衣装提出				
第5週	プレゼンテーション	第20週	プレゼンテーション提出				
第6週	モデル決定	第21週	プレゼンテーションフィードバック				
第7週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作①	第22週	ウォーキングレッスン①				
第8週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作②	第23週	ウォーキングレッスン②				
第9週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作③	第24週	通し練習①				
第10週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作④	第25週	通し練習②				
第11週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作⑤	第26週	通し練習③				
第12週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作⑥	第27週	通し練習④				
第13週	メイク・ネイル・衣装・展示デザイン制作⑦	第28週	打合せ				
第14週	デザインチェック・フィードバック	第29週	ショーリハーサル				
第15週	進行台本制作	第30週	ショー本番				
評価方法	定期試験は実施せず、実習、実技内容や協調性と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安→実習実技内容や協調性（90%）、授業態度や出席（10%）						
教科書 教材など	教員作成プリント、ネイル道具、メイク道具など						
実務経験	株式会社AILEエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	イメージメイクアップ	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	180 時間	必須・選択 必須選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>メイクアップを通して、他者とのコミュニケーションツールとしての表現力を学ぶ。自己満足ではなく、他者に評価されるオリジナルのメイクアップ作品を制作する。</p> <p>授業は演習形式で行うことで、モデルの個性を生かしつつ、さらに魅力を増す、ショー要素を含むメイク技術を学び集大成となるショーのメイクに繋げる。</p>					
到達目標	他者に伝わる作品が制作できるようになる。他社に評価をもらう。					
授業計画・内容						
第 1 週	光と影を理解する①	第 1 6 週	グループワーク①			
第 2 週	光と影を理解する②実技	第 1 7 週	グループワーク②			
第 3 週	印象分析①	第 1 8 週	グループワーク③			
第 4 週	印象分析②	第 1 9 週	発表			
第 5 週	印象分析③	第 2 0 週	フォトコンテスト制作①			
第 6 週	面取り/セルフ	第 2 1 週	フォトコンテスト制作②			
第 7 週	喜怒哀楽①	第 2 2 週	フォトコンテスト制作③			
第 8 週	喜怒哀楽②	第 2 3 週	フォトコンテスト制作④			
第 9 週	喜怒哀楽③	第 2 4 週	コンセプト記入・提出作業			
第 1 0 週	フォト用ヘアデザインと撮影	第 2 5 週	イメージメイク①			
第 1 1 週	ボディメイク①	第 2 6 週	イメージメイク②			
第 1 2 週	ボディメイク②	第 2 7 週	イメージメイク③			
第 1 3 週	カメラワーク特別講習	第 2 8 週	イメージメイク④			
第 1 4 週	感情表現、撮影①	第 2 9 週	イメージメイク⑤			
第 1 5 週	感情表現、撮影②	第 3 0 週	撮影			
評価方法	<p>定期試験は実施しない。</p> <p>定期的に出題する課題の内容、受賞、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：課題の内容（80%）・授業態度や出席（20%）</p>					
教科書 教材など	教員が作成したプリント					
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目	✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ総合演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	105時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	心理カウンセリングと色彩学や印象分析の理論を取り入れたメイクアップ技法で、「なりたい自分」になるために印象を変えるメイクアップを提供できるようになる。メイクをする事の本来の意味や目的を再確認させ、自己中心ではなく他者とのコミュニケーションツールとして活用できるように学習する。 授業は実技演習形式で行い、化粧品検定1級対策の中で様々な年齢肌の悩みはもちろん、化粧品の構成、医薬品医療機器等法などを学び、社会に出た際、お客様のニーズに合わせた接客ができるようになる。						
到達目標	検定取得以外に、メイクセラピーがクライアントに対して実際行えるまでの技術を身につける。（2級や1級の実 技試験内容） 日本化粧品検定1級取得						
授業計画・内容							
第1週	メイクセラピー概要・メイクセラピーの需要と必要性	第16週	カウンセリング実習①				
第2週	デモンストレーション	第17週	カウンセリング実習②				
第3週	カウンセリング概論①	第18週	日本化粧品検定1級対策④				
第4週	顔と心と化粧の関係	第19週	日本化粧品検定1級対策⑤				
第5週	スキンケア概論	第20週	日本化粧品検定1級対策⑥				
第6週	メイクアップ概論(パーツバランス)	第21週	ケースヒストリー①				
第7週	メイク実習(パーツバランス)	第22週	日本化粧品検定1級対策⑦				
第8週	メイクアップ概論(色彩)	第23週	ケースヒストリー②				
第9週	メイク実習(パーソナルカラー)	第24週	日本化粧品検定1級対策⑧				
第10週	メイクアップ概論(質感)	第25週	3級筆記試験				
第11週	日本化粧品検定1級対策①	第26週	論述問題対策①				
第12週	メイクセラピー的心理学	第27週	論述問題対策②				
第13週	人間関係論・確認テスト	第28週	メイクセラピー実習				
第14週	日本化粧品検定1級対策②	第29週	メイクセラピー実習				
第15週	日本化粧品検定1級対策③	第30週	メイクセラピー模擬試験				
評価方法	日本化粧品検定1級取得を半単位とする。その他、授業後に毎回提出させる日報やレポート、確認テストで評価する。 また、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：検定取得（50%）、提出物・確認テスト（40%）授業態度や出席（10%）						
教科書 教材など	日本化粧品検定1級テキスト						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビューティアドバイザー演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	1年・通年	時間数	135時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	メイクアップの基礎知識・ベーシックな技術・アイテムの知識を基盤に感性、センス、人間性を磨いていく。またお客様に満足していただける接客ができるよう、カウンセリング力もしっかり学んでいく。授業は主に実技演習形式で行い、デモンストレーションや講義形式を交えJMA1級に向けて授業展開を行っていく。						
到達目標	メイクアップの技術で必要な顔の分析とリクエストを踏まえたメイクアップ強調があるイメージメイクを学ぶ。						
授業計画・内容							
第1週	イメージメイク分析・イメージメイク 色、形、質感	第16週	カウンセリング①コミュニケーション				
第2週	キュート、エレガント イメージメイクデザイン	第17週	カウンセリング②コミュニケーション				
第3週	キュートメイクデザイン、顔分析	第18週	カウンセリングロープレ				
第4週	エレガントメイクデザイン、顔分析	第19週	カウンセリングロープレ				
第5週	フレッシュメイクデザイン、顔分析	第20週	スピードメイクオフ～スキンケア				
第6週	クールメイクデザイン、顔分析	第21週	スピードメイクオフ～スキンケア、カウンセリング				
第7週	アイブロウ強調メイク	第22週	スピードメイクオフ～スキンケア、カウンセリング				
第8週	アイメイクを強調したメイク	第23週	アドバイスのポイント、アドバイスシート作成				
第9週	リップメイクを強調したメイク	第24週	アドバイスのポイント、アドバイスシート作成				
第10週	チークメイクを強調したメイク	第25週	修正メイクの強化				
第11週	反復練習	第26週	エイジングによる変化				
第12週	反復練習	第27週	1級検定に向けて反復練習				
第13週	反復練習	第28週	1級検定に向けて反復練習				
第14週	まとめ	第29週	1級検定に向けて反復練習				
第15週	実技確認テスト	第30週	1級検定に向けて反復練習、まとめ				
評価方法	定期試験を実施し、前期・後期の実技試験の結果と小テスト、授業態度や身だしなみ、出席状況及び提出物や小テストを考慮して成績を評価する。※評価目安：実技試験と小テスト（60%）・授業態度、出席や身だしなみ（30%）・提出物（10%）						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 1級						
実務経験	株式会社 PCパンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ集中演習	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習	
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>一般社団法人JMA主催メイクアップシニアアドバイザー検定取得に向けて行っているビューティアドバイザー演習への導入部となる。</p> <p>授業方法は、講義形式を中心とし、理解した後デモンストレーションの展示で大枠のイメージを掴み、相モデルによる反復実習で実力をつける。</p>						
到達目標	<p>お出迎えからお見送りまで一貫して、サービスを提供する姿勢を崩さず、接客対応ができるようになる。</p> <p>カウンセリング力を高め、就職後の即戦力となるスキルがマスターできたか。</p>						
授業計画・内容							
第1週	メイク接客の流れ①(メイク接客マナー・電話対応・心遣い)						
第2週	メイク接客の流れ②(クレーム処理・褒めるコミュニケーション)						
第3週	顔の成り立ち(骨格・筋肉・皮膚)顔分析(ゴールデンプロポーション)						
第4週	顔型別メイク①(ゴールデンプロポーション)						
第5週	顔型別メイク②(ひし形)						
第6週	顔型別メイク③(ベース型)						
第7週	顔型別メイク④(面長型)						
第8週	顔型別メイク⑤(丸型)						
第9週	顔型別メイク・肌色の構成						
第10週	化粧品学(化粧品の肌への働き)①						
第11週	化粧品学(化粧品の肌への働き)②						
第12週	化粧品学(化粧品の肌への働き)③						
第13週	化粧品概論(フェイシャル化粧品・ボディ化粧品・メイクアップ化粧品・着色剤・フレグランス)						
第14週	肌タイプ(乾燥肌・普通肌・脂性肌・混合肌)肌悩み別スキンケア法						
第15週	メイクの種類と技術						
評価方法	<p>定期試験は実施せずに、毎授業時間終了後に提出される課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 毎時間の課題(90%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	日本化粧品検定2級3級対策テキストより作成したプリント						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイルベーシック	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井 貴子	学年・学期	2年・前期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	2級検定合格を目指して、2級課題技術・知識を身につける。 主にハンド、検定後は相モデルで練習していく。 筆記試験対策や要項説明もする。						
到達目標	ネイリスト技能検定試験2級合格						
授業計画・内容							
第1週	自己紹介、材料配布・確認、品名ラベル貼り、ハンドの仕込みの仕方、2級検定について伝える						
第2週	シルクラップ・チップラップ説明、デモ、ハンドで練習						
第3週	ネイルケア・チップラップ練習、要項説明						
第4週	ネイルケア・カラーリング・チップラップ練習						
第5週	ネイルケア・カラーリング・チップラップ練習						
第6週	ネイルケア・カラーリング・チップラップ・アート練習						
第7週	模擬試験結果伝達、ウイークポイント練習、筆記問題集						
第8週	ネイルケア・カラーリング・チップラップ・アート練習						
第9週	ネイルケア・カラーリング・チップラップ・アート練習						
第10週	模擬試験結果伝達、ウイークポイント練習、筆記問題集						
第11週	ネイルケア・カラーリング・チップラップ・アート練習						
第12週	模擬試験結果伝達、ウイークポイント練習、筆記問題集						
第13週	検定前日通し練習、持ち物準備・確認						
第14週	ケア・カラーリング・チップラップ 相モデル練習						
第15週	ケア・カラーリング・チップラップ 相モデル練習						
評価方法	出席状況50%、授業態度30%、検定合否10%、実技テスト10%にて評価する。						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイリスト技能検定試験公式問題集、自作プリント						
実務経験	サロンワーク1年6か月（ビ・ファセット）、美容師歴2年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイルプロフェッショナル	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	林えり子	学年・学期	2年・後期	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>【授業概要】 ジェル検定上級の習得およびジェル検定上級対策</p> <p>【授業内容】 ジェルスカulpture・チップオーバーレイ・フラワーの技術と知識の習得をハンドと相モデルで行う</p>						
到達目標	ジェルネイル検定上級合格						
授業計画・内容							
第1週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種①ハンド実習						
第2週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種②ハンド実習						
第3週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種③ハンド実習						
第4週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種④ハンド実習						
第5週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種⑤相モデル実習						
第6週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種⑥相モデル実習						
第7週	ジェルスカulpture・チップオーバーレイ 3種⑦相モデル実習						
第8週	ジェルネイル検定上級検定要項説明 DVD鑑賞 テーブルセッティング 相モデル実習						
第9週	上級模擬テスト（85分）						
第10週	上級模擬テスト（85分）						
第11週	上級模擬テスト（85分）						
第12週	上級模擬テスト（85分）						
第13週	上級模擬テスト（85分）						
第14週	上級模擬テスト（85分）						
第15週	上級模擬テスト（85分）						
評価方法	出席率， 日常点・試験結果， 検定結果にて総合判断をする。						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ジェルネイル） ネイリスト技能検定試験公式問題集 ジェルネイル上級道具一式						
実務経験	実務経験25年（有限会社ビ・ファセット Heart美容企画）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイルアドバンス	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	林えり子	学年・学期	2年・前期	時間数	105時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・アクリルを使用したイクステンション技術の基礎技術の練習						
到達目標	・アクリルネイルを使用する際の基礎的なイクステンション（ナチュラルスカルプチュア、チップオーバーレイ）の技術と知識の習得						
授業計画・内容							
第1週	アクリル理論、プロダクト説明 テーブルセッティング プロダクトコントロール						
第2週	プロダクトコントロール復習 ハンドへのチップのつけ方 1ボール目のアプリケーション						
第3週	プロダクトコントロール復習 ハンドへのチップのつけ方 チップオーバーレイ全体のアプリケーション						
第4週	フォームの付け方 1ボール目のアプリケーション スカルプチュア全体のアプリケーション						
第5週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第6週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第7週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第8週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第9週	相モデル実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第10週	相モデル実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第11週	相モデル実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第12週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第13週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第14週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
第15週	ハンド実習 チップオーバーレイ スカルプチュア						
評価方法	出席率と授業態度（40％） 前期試験（60％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムアドバンス アクリル道具一式 公式問題集						
実務経験	実務経験25年 （有限会社ビ・ファセット Heart美容企画）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル総合演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	相澤/吉田/木村	学年・学期	2年・通年	時間数	135時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	各ネイル検定の筆記試験対策と技術面でのフォローアップ。 後期からは、「サロンワーク」で学んだ流れを実践する(ネイルマシンの基本的な使い方及びサロンワークで頻度の高いネイルアートの実践) ジェルネイルのニューセットとフィルインの一通りが出来るようになること						
到達目標	ハンドトリートメントの習得（前期） ワークショップの開催(後期)、ネイリスト技能検定(筆記)合格、ジェルネイル検定(筆記)合格						
授業計画・内容							
第1週	ハンドトリートメントの説明	第16週	ネイルマシンデモと実習① ハンド				
第2週	ハンドトリートメントの手順の説明とデモ	第17週	ネイルマシン実習② 相モデル				
第3週	相モデルでハンドマッサージ練習	第18週	ネイルマシン実習③ 相モデル				
第4週	相モデルでハンドマッサージ練習	第19週	ネイルマシン実習④ 相モデル				
第5週	相モデルでハンドマッサージ練習	第20週	ネイルアートデモと実習① ハンドまたはチップ				
第6週	相モデルでハンドマッサージ練習	第21週	ネイルアートデモと実習② ハンドまたはチップ				
第7週	相モデルでハンドマッサージ練習	第22週	ネイルアートデモと実習③ ハンドまたはチップ				
第8週	タイムを計ってハンドトリートメント演習	第23週	ネイルアートデモと実習④ ハンドまたはチップ				
第9週	タイムを計ってハンドトリートメント演習	第24週	サロンネイルアート①				
第10週	ハンドトリートメントの説明	第25週	サロンネイルアート②				
第11週	ハンドトリートメントの手順の説明とデモ	第26週	サロンネイルアート③				
第12週	相モデルでハンドマッサージ練習	第27週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル① ニューセット				
第13週	相モデルでハンドマッサージ練習	第28週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル② フィルイン				
第14週	相モデルでハンドマッサージ練習	第29週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル③ フィルイン				
第15週	相モデルでハンドマッサージ練習	第30週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル④ オフ+ニューセット				
評価方法	(前期) 出席状況50% 授業態度50% (前期試験無し) (後期) 出席50% 日常点40% 検定結果10%						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムベーシック (前期) JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集 (後期)						
実務経験	株式会社みつまた ネイリスト歴18年 / 株式会社ソシエ・ワールド銀座店、オム池袋店1年 / Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイルサロンワーク	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	相澤 英里	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>【授業概要】 サロンワークを想定して必要とされるアート技術やマシンの使い方を学ぶ</p> <p>【授業内容】 ネイルマシンの基本の使い方、ネイルサロンで頻度の高いネイルアートの練習 ネイルカルテの記入およびジェルネイルのフルサービスの実習</p>						
到達目標	<p>ネイルマシンの基本的な使い方及びサロンワークで頻度の高いネイルアートの習得 ジェルネイルのニューセットとフィルインの一通りが出来るようになること</p>						
授業計画・内容							
第1週	ネイルマシンデモと実習① ハンド						
第2週	ネイルマシン実習② 相モデル						
第3週	ネイルマシン実習③ 相モデル						
第4週	ネイルマシン実習④ 相モデル						
第5週	ネイルアートデモと実習① ハンドまたはチップ						
第6週	ネイルアートデモと実習② ハンドまたはチップ						
第7週	ネイルアートデモと実習③ ハンドまたはチップ						
第8週	ネイルアートデモと実習④ ハンドまたはチップ						
第9週	サロンネイルアート① 相モデル						
第10週	サロンネイルアート② 相モデル						
第11週	サロンネイルアート③ 相モデル						
第12週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル①ニューセット 相モデル実習						
第13週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル②フィルイン 相モデル実習						
第14週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル③フィルイン 相モデル実習						
第15週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル④オフ+ニューセット 相モデル実習						
評価方法	出席50% 日常点30% 試験20%						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	株式会社みつまた ネイリスト歴18年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル検定対策	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	吉田 ほのか	学年・学期	2年・通年	時間数	45 時間	必須・選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>【授業概要】 1級・上級の検定合格を目指して、課題の技術及び知識を身につける。</p> <p>【授業内容】 試験内容・採点基準の説明、筆記対策の他、ハンド・相モデルでの実技練習</p>					
到達目標	<p>ネイリスト技能検定1級フォローアップ（検定予定日10/18）</p> <p>ジェルネイル検定上級フォローアップ（検定予定日1/23）</p>					
授業計画・内容						
第1週	1級対策①	第16週	1級通し練習⑤			
第2週	1級対策②	第17週	1級通し練習⑥			
第3週	1級対策③	第18週	上級対策①			
第4週	1級対策④ 検定要項、採点基準説明	第19週	上級対策②			
第5週	筆記対策	第20週	上級対策③			
第6週	1級対策⑤	第21週	上級対策④			
第7週	1級対策⑥	第22週	模擬テスト			
第8週	模擬テスト	第23週	上級対策⑥ 検定要項、採点基準説明			
第9週	1級対策⑦	第24週	上級対策⑦			
第10週	1級対策⑧	第25週	上級通し練習①			
第11週	筆記対策	第26週	上級通し練習②			
第12週	1級通し練習①	第27週	上級通し練習③			
第13週	1級通し練習②	第28週	上級通し練習④			
第14週	1級通し練習③	第29週	上級通し練習⑤			
第15週	1級通し練習④	第30週	上級通し練習⑥			
評価方法	出席状況、授業態度、模擬テストを実施し、トータルで評価する。					
教科書 教材など	ネイリスト技能検定試験公式問題集 JNAテクニカルシステムアドバンス(1級)・JNAテクニカルシステム(上級)					
実務経験	株式会社ソシエ・ワールド銀座店、オム池袋店 1年				実務経験のある教員による 授業科目	
						✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック理論Ⅲ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	授業内容：講義形式で受講 教科書に沿いながら、内容により実践を含む 卒業後、即戦力となる人材育成を行う エステティックの基本的な知識や技術理論の向上を目指す						
到達目標	日本エステティック協会 認定エステティシャン筆記試験合格						
授業計画・内容							
第1週	化粧品学	化粧品とは					
第2週		化粧品の品質・使用期限・使用量・使用上の注意点など					
第3週		フェイシャル化粧品					
第4週		ボディ化粧品					
第5週		化粧品の原料					
第6週		化粧品に使用される薬剤					
第7週	衛生管理	消毒の概念					
第8週		サロンでの正しい消毒方法					
第9週		消毒方法の種類					
第10週		感染症と衛生管理の歴史					
第11週	栄養学	栄養素の種類					
第12週		5大栄養素①					
第13週		5大栄養素②					
第14週		5大栄養素③					
第15週		前期試験					
評価方法	学期末試験に加え、出席状況・授業態度・指示への的確性・クラス内フォローが率先してできているかなど 普段の様子を重要視した評価とする						
教科書 教材など	・日本エステティック試験センター例題集						
実務経験	株式会社AILEエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック総合演習		学科名	トータルビューティ学科		授業方法	講義	
担当教員	村中 梨絵		学年・学期	2年・後期	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	授業内容：講義形式で受講 教科書に沿いながら、内容により実践を含む 卒業後、即戦力となる人材育成を行う エステティックの基本的な知識や技術理論の向上を目指す							
到達目標	日本エステティック協会 認定エステティシャン筆記試験合格							
授業計画・内容								
第1週	栄養学続き		食物摂取と消化吸収					
第2週			健康と栄養・肥満					
第3週			美容と栄養・BMIについて					
第4週			サプリメント・食品添加物					
第5週	試験対策		日本エステティック協会認定エステティシャン筆記試験対策					
第6週								
第7週								
第8週								
第9週								
第10週								
第11週								
第12週								
第13週								
第14週								
第15週								
評価方法	学期末試験に加え、出席状況・授業態度・指示への的確性・クラス内フォローが率先してできているかなど 普段の様子を重要視した評価とする							
教科書 教材など	・新エステティック学 全6冊 ・日本エステティック試験センター例題集							
実務経験	株式会社AILEエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	接客マナーⅡ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	宮原香由里	学年・学期	2年・後期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>・前期のビジネスや接客シーンで必要となる電話対応実務の基本の復習から予約表を用いて予約の取り方、予約の際の確認事項、新規・既存客の予約の取り方など応用を、学ぶ。</p> <p>・来客実習に向けて、お出迎え、エレベーターのご案内、施術教室までの誘導の仕方を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>①お辞儀、挨拶、返事、敬語を徹底して習得し、電話対応の基本から応用までの言動を身に付け、お客様のご予約を受ける事が出来る。</p> <p>②1年次に学んだ接客マナーを来客実習で実践し、お客様満足の接客が可能になる。</p>						
第1週	基本の電話対応復習						
第2週	基本の電話対応復習						
第3週	電話対応の応用の説明						
第4週	電話対応応用(新規予約取りについて)						
第5週	電話対応応用(既存の予約取りについて)						
第6週	電話対応応用演習①						
第7週	電話対応応用演習②						
第8週	電話対応応用演習③						
第9週	電話対応応用演習④						
第10週	来客実習について(趣旨説明、案内方法)						
第11週	来客実習について(全体の流れ)						
第12週	来客実習について(お出迎え～エレベーターまでロープレ)						
第13週	来客実習について(エレベーター～教室までのご案内ロープレ)						
第14週	来客実習について(お返しのロープレ)						
第15週	来客実習について(全体の流れ)						
評価方法	<p>A出席点（100点）…テストや必須の補習等も含めたすべての出席率が点数</p> <p>B授業点（100点）…持ち点を100点とし、課題や提出物、ファイリング演習、授業態度を減点法で採点する</p> <p>C試験点（100点）…期末のテスト、中間テストや実技テスト等の合計点</p> <p>前期・後期の評価はそれぞれ上記ABCの平均点とし、学年末の単位認定は前期点と後期点の平均点とする。講義への出席状況と授業への取り組み姿勢が評価に大きく影響するため、成績不良者に対する再試験は原則として行わない。</p>						
教科書 教材など	講師作成のプリントや資料を使用する。						
実務経験	各種専門学校や一般企業、公共職業訓練等でビジネスマナー・インストラクターとして25年以上の経験あり			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	フェイシャルエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習	
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・通年	時間数	195時間	必須・選択	必須
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養い、使用する化粧品、機器を選択できるように実践学習する。 ・授業は主に実習演習形式で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、肌の悩みを改善へと導く技術力を養う。また季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得すると共に、プロとして販売および接客力を養う。 ・技術力確認試験対策授業。 						
授業内容							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①お客様に合わせて、トリートメントプランが立てれる力を身につける。 ②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身に付ける。 ③肌状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。 ④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。 ⑤技術力確認試験の合格に向けて学ぶ。 						
授業計画・内容							
第1週	エステティック機器(吸引)	第16週	ブライダルエステデコルテトリートメント				
第2週	エステティック機器(イオン導入)	第17週	ブライダルエステデコルテトリートメント				
第3週	エステティック機器(パター)	第18週	ブライダルエステ背面トリートメント				
第4週	エステティック機器(超音波)	第19週	ブライダルエステ背面トリートメント				
第5週	エステティック機器(エクスフォリエーター)	第20週	ブライダルエステ見極めテスト				
第6週	フェイシャルマッサージ(ベーシック)	第21週	技術力確認試験詳細説明				
第7週	フェイシャルマッサージ(ベーシック)、超音波	第22週	技術力確認試験練習				
第8週	フェイシャルマッサージ(ベーシック)、エクスフォリエーター	第23週	技術力確認試験練習				
第9週	フェイシャルマッサージ(ベーシック)見極めテスト	第24週	技術力確認試験練習				
第10週	フェイシャルマッサージ(アロマリパ)、吸引	第25週	技術力確認試験練習				
第11週	フェイシャルマッサージ(アロマリパ)、イオン導入	第26週	技術力確認試験練習				
第12週	フェイシャルマッサージ(アロマリパ)見極めテスト	第27週	技術力確認試験練習				
第13週	マッサージ・機器選択	第28週	技術力確認試験練習				
第14週	マッサージ・機器選択	第29週	技術力確認試験練習				
第15週	前期試験	第30週	技術力確認試験練習				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を実施し、実技試験結果と小テストや 授業態度を考慮して成績を評価する。 ※実技見極め試験、小テスト20%、授業態度20%、後期試験60% 						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊 化粧品成分ガイド第6版						
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ボディエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ学科	授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・通年	時間数	150時間
授業概要 授業内容	<p>・エステティックに関する基礎知識、エステティックの歴史、資格制度、関連法規、生命活動の基本であるホメオスタシスについて学び、安全安心なエステティックのあり方を深める授業である。</p> <p>・授業は講義形式で「エステティック理論Ⅰ」における理論的学習と「フェイシャルエステティック基礎演習」および「ボディエステティック基礎演習」における技術的学習との関連性をもたせた授業展開を行う。</p>				
到達目標	<p>・一年次の基本手技の応用トリートメントとして、幅広いお悩みに対してケアが出来るように、機器や様々なマッサージを学び、知識を深める。</p> <p>・後期は、技術力確認試験合格に向けての対策授業。</p>				
授業計画・内容					
第1週	エステティック機器(G5)	第16週	脱毛理論		
第2週	エステティック機器(G5)	第17週	脱毛		
第3週	エステティック機器(サクション)	第18週	脱毛		
第4週	エステティック機器(サクション)	第19週	技術力確認試験対策(流れ、相モデル組、カルテ)		
第5週	エステティック機器(低周波)	第20週	技術力確認試験対策(基本手技確認)		
第6週	エステティック機器(低周波)	第21週	技術力確認試験対策(基本手技確認)		
第7週	採寸の方法	第22週	技術力確認試験対策(基本手技見極めテスト)		
第8週	アロマリンパマッサージ	第23週	技術力確認試験対策(基本手技見極めテスト)		
第9週	アロマリンパマッサージ	第24週	技術力確認試験(通し練習)		
第10週	アロマリンパマッサージ見極めテスト	第25週	技術力確認試験(通し練習)		
第11週	バンテージ	第26週	技術力確認試験(通し練習)		
第12週	バンテージ	第27週	技術力確認試験模擬試験		
第13週	相モデルで機器選択	第28週	技術力確認試験		
第14週	相モデルで機器選択	第29週	後期試験対策		
第15週	前期試験	第30週	後期試験対策		
評価方法	<p>定期試験（、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験（60%）、課題提出および内容・小テスト（20%）、出席状況・授業態度（20%）</p>				
教科書 教材など					
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務			実務経験のある教員による 授業科目	✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック集中演習	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	林 えり子	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	必須・選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティシャンによる身だしなみやソシオエステティック・ブライダルエステティックなどの幅広い分野について学ぶ。</p> <p>・エステティックマッサージの基本手技だけでなく応用的な手技を学ぶことにより実践的なトリートメントの構成ができるよう実習を行う</p>					
到達目標	<p>・1年次より取り組んだ基本手技の技術力向上。・通常の</p> <p>・サロン業務だけでなく、幅広いエステティックの分野について知り、将来の自分の進む方向について考える力を養う。</p>					
授業計画・内容						
第1週	自己紹介					
第2週	エステティシャンの身だしなみ講座					
第3週	ブライダルエステティック講座					
第4週	ブライダルエステティック講座					
第5週	ソシオエステティック講座					
第6週	ソシオエステティック講座					
第7週	基本手技確認					
第8週	基本手技確認					
第9週	基本手技確認					
第10週	基本手技確認					
第11週	基本手技確認					
第12週	応用手技とトリートメントの構成					
第13週	応用手技とトリートメントの構成					
第14週	応用手技とトリートメントの構成					
第15週	応用手技とトリートメントの構成					
評価方法	出席率と授業態度（40%） 前期試験（60%）					
教科書 教材など	新エステティック学理論編II 応用テクニック プラチナデコルテ&二の腕					
実務経験	エステティシャンとして実務経験35年（株式会社シュウウエムラ、株式会社エクセレント、有限会社 エル・ポーテ、有限会社ビ・ファセットHeart美容企画）				実務経験のある教員による 授業科目	
	✓					

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	アロマテラピー	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	講義	
担当教員	千原亜希	学年・学期	2年・前期	時間数	45時間	必須・選択	選択
授業概要 ・ 授業内容	アロマテラピーの基礎知識を学び、さまざまな精油の香りを楽しみ作用を知る。アロマクラフトの実習を通して生活の中で活用したり仕事で活かしたりできるような経験を積む。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・体調やお肌の調子に合わせて精油の提案ができる ・精油の楽しみ方を説明することができる ・アロマクラフトを作る際、精油の濃度を考慮してブレンドすることができる ・精油の禁忌事項について理解している ・AEAJアロマテラピー検定1級取得もしくは同等の知識を身につける 						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション グループ分け イメージング						
第2週	chapter 1 精油の4つの性質 植物の部位と精油 精油がもたらす作用 実習①：蒸気吸入						
第3週	chapter 2 精油の抽出法 精油の選び方 chapter 3 アロマテラピーの安全性						
第4週	chapter 4 アロマテラピーを実践する 実習②アロマスプレー						
第5週	chapter 4 アロマテラピーを実践する						
第6週	chapter 5 アロマテラピーのメカニズム 実習③ロールオン						
第7週	chapter 5 アロマテラピーのメカニズム						
第8週	chapter 6 アロマテラピーとビューティ&ヘルスケア 実習④クレイパック						
第9週	chapter 6 アロマテラピーとビューティ&ヘルスケア						
第10週	chapter 7 アロマテラピーの歴史実習 ⑤ミツロウのクリーム						
第11週	chapter 7 アロマテラピーの歴史						
第12週	chapter 8 アロマテラピーに関する法律 実習⑥バスボム						
第13週	chapter 8 アロマテラピーに関する法律						
第14週	模擬テスト・アロマクラフト実習のまとめ 実習⑦ハンガリーウォーター						
第15週	模擬テスト・香りのテスト						
評価方法	授業態度、出席状況、前期試験結果を考慮して評価。 ※評価目安：前期試験（60％）・授業態度（20％）・出席状況（20％）						
教科書 教材など	アロマテラピー検定 公式テキスト1級・2級、その他実習用副教材						
実務経験	アロマサロン5年間勤務、2020年よりアロマサロン経営				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアスタイリング	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習	
担当教員	白神 健一	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	必須・選択	必須選択	
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次より新たな授業としてヘアスタイリングが始まる。 ・メイク技術も大切だが、現代における美しい女性像の中にはヘアスタイルとメイクのバランスがとても大切であるという認識が広がっている。 ・授業方法は実技演習を中心に行い、ヘアアレンジの基礎技術を中心に学び、ウィッグを通して技術を習得する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標はお客様や季節ごとのイベント等にメイクと同時にヘアスタイルも提案できるように基礎・応用を学び、ウィッグにて作品を作る。 							
授業計画・内容								
第1週	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術習得① ・表編み、裏編み、フィッシュポーンなど 							
第2週	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術習得② ・三つ編み込、表編み込、裏編み込 							
第3週	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術習得③ ・片編み込み、表編み込、裏編み込 							
第4週	<ul style="list-style-type: none"> ・アイロンの使い方 ・ローラーの巻き方 							
第5週	<ul style="list-style-type: none"> ・アイロンやローラーを使用した仕込み技術① 							
第6週	<ul style="list-style-type: none"> ・アイロンやローラーを使用した仕込み技術② 							
第7週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込みアレンジ① ・編み込みを駆使したハーフアップスタイル① 							
第8週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したハーフアップスタイル② 							
第9週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル① 							
第10週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル② 							
第11週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込み等のほぐし方やバランスの見極め 							
第12週	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい編み込みを使ったヘアスタイル 							
第13週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル① 							
第14週	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル② 							
第15週	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験（編み込み技術を駆使したスタイル） ・テーマは「自由」 試験時間は40分 							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を実施し技術課題と授業態度や出席状況を考慮し成績を評価する。 ※評価目安：技術課題（80）%・授業態度や出席（20）% 							
教科書 教材など	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター（パワーポイント使用） ・出版社：新美容出版等（美容雑誌）。 書名：#かねこアレンジ／SHINBIYO等の美容雑誌 							
実務経験	美容師経歴6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	POP	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義	
担当教員	岩崎 孝子	学年・学期	2年・後期	時間数	30時間	必須・選択	必須選択	
授業概要 ・ 授業内容	<p>・お店に役立つ人材としてPOPを描ける事も必要であり、そのためにフェルトペン（油性マーカー・水性マーカー）を使用し、プライスカード、ショーカード、イラストなど作成にバランス、センス、スピード良く描けるように学ぶ授業である。</p> <p>・授業は講義形式で講師作成プリントや資料を参考に授業を進め、丸カラーペンの使用方法の基礎から応用までを教え、実際に学生一人ひとりに作成させ成長度を確認し学習していく。</p>							
到達目標	<p>・色彩も兼ねてPOP（プライスカード、ショーカードなど）作成に取り組み、作品が美的センス良く、仕上げられようようにアドバイスし就職時に役立つように理解度を深める。</p>							
授業計画・内容								
第1週	POPについて、丸マーカーの基礎							
第2週	丸マーカー 数字							
第3週	〃 カタカナ、英文字							
第4週	〃 ひらがな、漢字							
第5週	イラストレーション							
第6週	平面から立体							
第7週	丸マーカー 名前							
第8週	角マーカー 数字、カタカナ							
第9週	〃 英文字、色彩							
第10週	〃 ひらがな							
第11週	〃 漢字							
第12週	イリュージョン							
第13週	ぬり絵制作							
第14週	プライスカード、ショーカード							
第15週	各々1枚に仕上げる							
評価方法	<p>・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安：POPの作成能力度（55%）・成長度や提出物（25%）・授業態度や出席（20%）</p>							
教科書 教材など	POP広告クリエイター技能試験ガイド POPレタリング&デザイン①②③ 実戦POPハンドブック カラーマーカー							
実務経験	デザイン会社勤務、カルチャースクール講師					実務経験のある教員による 授業科目		✓